

むさしの歌謡愛好会 2024 年度 報告書

2024 年 11 月 23 日 吉祥寺の東美教会にて、むさしの歌謡愛好会が主催した『戦前戦後・流行歌とジャズソング演奏会』が行われました。武蔵野市民及び一般のお客様を対象にし、入場料は 2,000 円で販売しました。Google フォームを利用してご予約を募り、当日受付にて精算をいたしました。武蔵野市民の方にはささやかなプレゼントも用意いたしました。入場者は 58 名（前売り販売 44 名、ご招待 14 名）となりました。

イベント全体は二部構成になっており、一部では、カネリ・プルネリ楽団をお招きし、バンジョー、ピアノ、ウッドベースの生演奏でむさしのを舞台にした『森の小径』など戦前戦後の昭和の流行歌とジャズソングの楽曲を 10 曲お届けしました。また、楽曲の時代背景についても詳しく説明し、当時の文化をお伝えいたしました。

二部ではお客様に歌詞カードを配布し、全員で『蘇州夜曲』『東京ブギウギ』の合唱（歌えない方は貸し出しをしたパーカッションで合奏）を行い、大変盛り上がりしました。（動画参照）

終演後にお客様にお話を伺ったところ、
80 代のお客様が「当時を思い出して感動しました」
中国からのお客様が「興味深く参加できました」
ご夫婦のお客様が「今日が結婚記念日で、いい思い出になりました」
などなど、お客様からの熱気も感じました。
老若男女、様々な世代の方が参加してくださったようです。

このような演奏会の機会を設けることで、昭和・平成・令和世代が一堂に会する場を提供出来たように思います。今後も定期的に市民の参加型の演奏会を行い、歌の文化のみならず戦前戦後の記憶を伝承していくことで、地域活動の活性化に貢献していきたいと考えております。

今年のステップアップ：イベントのために作成した動画や紙資料を使って、さらに深く学べるイベントにする／アンケートのリクエストを選曲に反映する／SNS 運用開始／武蔵野市民が参加しやすい価格設定／インターネットが不慣れな世代に向けた紙のチケットの販売／親子三世代（80 代、50 代、20 代など）で参加できるということをアピールした告知文にする／楽曲をより豊かにするためのヴァイオリニストの追加、などなど…

反省点：告知を始めるタイミングが遅すぎた（1 ヶ月切っていました）ので、次回は 3 ヶ月ほど前から周知させていきたいと考えます。

